第 33 号

さくらだより





理念

ひとりの人を大切にしたまごころ介護 ひとりの人の可能性を信じるまごころ介護







書初めに挑戦するとしさん。(1月) たくさんの色で鬼を撃退!(2月) 喜久さんお雛様の顔にそっくりですよ

(3月)



「お腹空いたね笑」「花より団子です」 「ここだけの話ですよ・・笑」(4月)





女子が揃えば怖いものなし!

一番好きなのはお父さん♡(6月) 万歳~バンザーイ!皆も一緒に♪



紅葉を見にいこうよう♪小布施のお寺へ (10月)



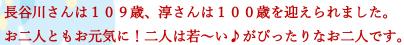
「大丈夫か、やってやる」本当に素敵なご夫婦ですね。

何気ない一日が、一瞬が私たちの大切な思い出

たくさんの笑顔をあいかとう













倉澤さんの母校にて、キャリフェスに参加。そこで生徒さんに昔よく作って遊んだお手玉をプレゼント しよう!と100個ものお手玉を作りました。皆、お母さんの顔でした。(11月)





歳忘れ会では、三味線の生演奏で懐かしい歌を皆で歌いました。 そして柳澤サンタによる手作り写真たてのプレゼント♪ (12月)

コロナ終息を願うて

「今年は当口ナだから鬼も家の中に招いてあげよう!」「みなさん鬼も一緒に遊びに来ましたよ~」 記念写真もバッチリ!「鬼は~内、福も~内♪」コロナも退治しましょう!と大きな声で叫びましたね。 お昼は「南南東」を向き「今年も元気に暮らせますようにと」願いを込め恵方巻を食べました。













昨年はコロナウイルス流行に伴い行動の範囲が制限されてしまい、お年寄りの皆さんに我慢をして頂く事が増えてしまうことがないか心配しましたが、「こんな時だからこそ!」の精神でスタッフが団結し、とにかく笑いと明るい毎日をお年寄りの皆さんとたくさん作ることが出来ました。「ケセラセラ~なるようになるさ」忠造さんが歌を教えてくれました。

これから少しづつワクチン接種が始まっています。

やるべきこと、出来る事を精一杯行いながら、希望の光を絶やさず、明るい今を、お年寄りと過ごしていきたい、そんな気持ちを大切に日々関わらせて頂きます。

本年もどうぞさくらを宜しくお願い致します。

(多周い合わせ) 碧碧原 さくら

是影话音四5-13

TEL 026-244-7104



